

うめ組 生活単元学習（道徳）学習指導案

うめ組 4名 指導者 山田 美江子

1 主題名 やりぬこう

2 主題設定の理由

〈ねらいとする価値について〉

1-(2)	自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。
-------	------------------------------

将来、子どもたちが自立した生活をおくるためには、学校や家庭での生活のなかで、自分がやるべき勉強や仕事をしていくことが大切になる。生活の基盤となる家庭生活や学校生活を通して、子どもたちは道徳性を身に付けていく。日々の生活の中で、自分がやろうと決めたお手伝いや学校の仕事をやり続けていくことは大切であると考えます。

家族の一員としての役割を自覚し、お手伝いを通して、家族の担う家事について知り、感謝の心を育て、自分も家族の役に立てるのだという喜びをもつことは大切だと考えている。また、上学年に進級し、学校の中で自分ができる仕事をしていくことも、学校の一員・学級の一員として大切となる。自分がやらなくてはならないことは、ねばり強く取り組み、努力し続けようとする態度を身に付けさせたい。

〈子どもの実態〉

本校の障害児学級は現在、場面緘黙のA児（6年）、自閉症のB児（5年）、自閉傾向のあるC児（4年）と集団の中ではなかなか自分が出せないD児（4年）が在籍している。6年生女子A児は、本学級内では、スムーズに会話ができるようになり、給食や朝の会・帰りの会でリーダーとして、自分から活動しようという意識ができてきている。6年生の交流学級では、同じ班の子から誘ってもらい、掃除やゴミ集めなど奉仕的な活動に参加できるようになってきた。しかし、仲間の質問に返事をすることはできずにいる。5年生男子B児は、課題に取り組む意欲が高く、器用であり技能面の習得もスムーズにできている。ただ、人の話から、相手の意図をくみ取ることが苦手である。4年生男子C児は、人の話を聞き静かに行動しようという意識が育ち始めている。だが、手先が器用に動きにくい面と自分の誤りを認めたくない気持ちから、声を上げてしまったり、人に依存してしまったりする面がある。4年生女子D児は、作業に丁寧に取り組む、正確に仕上げることができる。しかし、疲れやすかったり、行動がゆったりしたりしているため、人に手助けしてもらうことが多くなり、課題に取り組みにくい状況がある。その影響か、自分の言いたいことを表現しにくい面がある。

保護者は子どもたちに、「自分のできることは自分でやること」「相手のことを思いやり親切にすること」などを身に付けてほしいという願いがある。体や手先をできるだけ動かし、自分のことを自分でし、将来に向けて生きて働く力を付けていくことが子どもたちの幸せにつながると考え、取り組んでいる。（アンケート「子どもにどのような道徳性を身に付けさせたいか」より）

そこで、家庭生活を行うために必要な技術を身に付ける必要性を感じ、お手伝いをしようという活動を継続して行っている。自分の生活を支えてくれている家族のしていることが分かり、実際に自分でやってみることでその大変さを知るとともに、感謝の気持ちを持つことも大切だと考える。自分の日々の活動に位置付け、「お手伝いのあゆみ」に記録している。ただ、長い間取り組んでいると、意欲を継続することが問題になってくる。そこで、道徳の授業や朝の会などで、日々の実践を評価し、取り組むお手伝いの種類を増やしていこうという話し合いをしている。保護者の方からも、子どもの家庭生活を見直して、お手伝いを支援していこうという意識も出てきている。ただ、不器用な面、雑な面、掃除機の音を嫌うなどいくつかの問題もあり、配慮すべき点が多い。そこで、お手伝いや学校の係の仕事をする上でどんな面の技能を育てていきたいかについて保護者と相談し、ともに励まし賞賛しながら進めている。

〈本時の学習について〉

今回の授業では、日頃自分たちがしているお手伝いや係の仕事について発表した上で、ソーシャルスキルトレーニングの考え方をういたカードを見て重要な点を話し合う。その後で、課題となるお手伝いや仕事の技能面の練習に取り組む。実際の活動を通して、自信を持って取り組んでいけるよう意欲化をはかり、今後の実践を有意義なものにしていけるように支援していきたい。

(1) ねらい

自分のやるべきお手伝いの大切さを知り、ていねいに取り組んでいこうとする意欲を高める。

(2) 展開

□指導上の留意点 ●評価 () 評価方法

学習活動	主な発問と予想される子どもの意識	指導上の留意点と評価
<p>1 自分たちの取り組んでいるお手伝いや係の仕事を発表する。</p>	<p>○ 自分のやっているお手伝いや学校での委員会、係の仕事を発表しよう。</p> <p>A 風呂洗いや掃除機、皿洗いなどです。水槽の掃除やえさやり、ゴミ集めや玄関掃除もします。</p> <p>B 廊下そうじやテレビふきです。給食の片づけや献立の放送もします。</p> <p>C 肩たたきや皿運び、タオルたたきをします。鳥小屋の掃除や水やり、えさやりもします。</p> <p>D お茶を入れたり、洗濯物を干したり、つまみを入れたりします。鳥小屋の掃除や水やり、えさやりもします。</p>	<p>□日頃の写真を用意して、お手伝いや仕事を振り返りやすくする。また、お手伝いや学校での仕事は分けて質問し、整理して発言しやすくする。</p> <p>●自分のやっているお手伝いや仕事について、話すことができたか。(発言)</p> <p>A 質問内容をよみ聞き、自分の意見を発表することができたか。</p> <p>B 質問内容をよく聞き、自分の考えたことを真剣に発表しようとすることができたか。</p> <p>C 自分の意見と共に友達の見聞も発表することができたか。</p> <p>D 友達の発言をよく聞いて、自分の意見を発表することができたか。</p>
<p>2 絵カードを見て、個々のお手伝いや仕事を発表する時のポイントについて話し合う。</p>	<p>○ 絵カードの話を見たり聞いたりして、大切なのは、どんなところだと思いますか。</p> <p>A スポンジで、皿の端や裏をこすると汚れが落ちます。洗剤は、あまりつけすぎたり、もったいないし、地球によくない。自分の分担の日は、忘れずにゴミ出しに行つて、ゴミ袋を入れ替えてくれます。</p> <p>B ぞうきんを左手、右手逆回しかたくしほりまです。尿をふくときは左から右へ順序よく折り返して拭きます。窓ガラスは、しめらせた新聞紙で端っこまで力を入れて拭きます。</p> <p>C タオルはしわを伸ばしてから、端と端をそろえてたたきます。同じ大きさのタオルをそろえます。トレーナーはきちんと広げて、袖を肩のところでたたんで、2つに折ります。</p> <p>D 洗濯物を干すときは、たたんでパンパンとしわを伸ばして、ハンガーに掛けます。左右同じように形よく直してから、洗濯ばさみで留めます。靴下などは、落ちないように留めます。</p>	<p>□絵カードでの活動例や教師のモデルを提示することで、大切な点をつかみやすいようにする。(状況絵、実物、文)</p> <p>●お手伝いごとのポイントや自分たちの生活を振り返り、お手伝いで日頃できないこと、難しいと思うことなどが言えたか。(発言)</p> <p>A 洗剤の付け方や皿の洗う順序についてのポイントを発表したり、日頃の手伝いについて振り返りができたか。</p> <p>B ぞうきんを使った床の拭き方や窓の拭き方についてのポイントを発表したり、日頃の手伝いについて振り返りができたか。</p> <p>C タオルやトレーナーのたたき方を発表したり、しわを伸ばして、左右揃えるということに気が付き、発表することができたか。</p> <p>D 洗濯物の干し方のポイント、しわを伸ばして、左右揃えるということや動作やつぶやくで表現することができたか。</p>
<p>3 自分の取り組むお手伝いの練習をする。</p>	<p>○ これから教室で、自分のやっているお手伝いがうまくできるように練習してみよう。カードを見て、順番の通りにやってみよう。困ったことや分からないことがあったら、手を挙げて知らせよう。</p> <p>・お皿の端は、力を入れてキュッと洗うと汚れがよく落ちるよ。</p> <p>・モップの端は、力を入れて持って、端までいってごしごし拭くとピカピカになるよ。</p> <p>・タオルの端をびったりくっつけてから、真ん中を折るのが難しいな。</p> <p>・服のしわをパンパンと伸ばしてから、ハンガーにかけられて、うれしかったよ。</p>	<p>□各活動の場所を設定をし、絵や短い文で手順をわかりやすく提示する。</p> <p>□一人一人の子どもの活動へ目を配り、励ましと賞賛を心かけ、子どもが意欲的に課題に取り組めるようにする。</p> <p>●自分の課題に対して、手順に従い、落ち着いて丁寧に取り組むことができたか。(観察)</p>
<p>・練習してみた感想</p>	<p>A 私は、洗剤の量をうまく使えて、お皿を洗えるようになりました。おぼあちゃんが、喜んでくれるようになりました。</p> <p>B 私は、床の水ぶきをする時、ぞうきんをしっかりとすすぎ、端まで順序よく拭いていきます。丁寧に仕上げるのは大切なことと分かりました。</p> <p>C 私は、家でタオルをたたむお手伝いをしていました。これからは、上着やスボンもたたむようになりたいです。</p> <p>D 私は、洗濯物を干すのが上手になりました。家でお母さんやお父さんのTシャツも干してみました。</p>	<p>A 洗剤を適量つけて、お皿の内側の端や裏まできちんと汚れを落とす、水洗いして水切りかごに入れることができたか。</p> <p>B 両手でかたくしぼったぞうきんを持ち、順序よく端まで拭くことができたか。</p> <p>C タオルやトレーナーをきちんと広げ、しわを伸ばしてから、端に注意してたたむことができたか。</p> <p>D 洗濯物をたたんでしわを伸ばし、ハンガーにバランスよくかけたり、洗濯ばさみでとめたりすることができたか。</p>
<p>4 保護者の声を聞き、これからの生活に生かしていこうという意欲を持つ。</p>	<p>○ これから、おうちの方からのメッセージを聞きましょう。</p> <p>今日から、お手伝いや係の仕事はどうしていこうと思いますか。</p> <p>・ほめてくれて、うれしい。</p> <p>・うちの人が喜んでくれるから、続けてやっていこう。</p> <p>・友だちや先生も喜んでくれる。違う仕事もやってみたいな。</p>	<p>□それぞれの子どもに対し、日頃のがんばりを認め、その上で身に付けていくべき点について、話していただくことで、実践意欲を高める。(テープ)</p> <p>●学習したことから生活を振り返り、自分の気持ちを伝えようとする意欲を持てたか。(発言)</p>